

薬物乱用が心身に及ぼす影響

覚せい剤や麻薬等は、それを乱用する**人間の精神や身体をボロボロにし**、人間が人間としての生活を営むことをできなくするだけでなく、場合によっては死亡することもあります。

また、薬物の乱用による**幻覚・妄想**が、殺人、放火等の**凶悪な犯罪や交通事故を引き起こす**ことがあるなど、乱用者本人のみならず、周囲の人、さらには社会全体に対しても、取り返しのつかない被害を及ぼしかねないものです。

こうしたことから、**覚せい剤、麻薬等の使用、所持等は法律により厳しく禁止**されています。

1. 薬物を乱用すると…

乱用される薬物は、**中枢神経系に作用**することから、乱用したときの快感を得たり、薬物の効果が切れたときの苦痛などから逃れるため、薬物による効果を強く求めるようになる「**依存性**」が形成されます。また、薬物を繰り返し使用しているうちに同じ量では効かなくなる「**耐性**」が生じます。

「一度だけ」という好奇心や遊びのつもりでも、薬物の依存性と耐性によって、乱用する量や回数がどんどん増えていくという悪循環に陥り、自分の意思では止めることができなくなります。

また、乱用を止めても、睡眠不足や過労、ストレス、飲酒等をきっかけに、突然、幻覚や妄想等の精神障害が現れる**フラッシュバック（再燃現象）**が起こることがあります。

2. 精神・身体への影響について

覚せい剤を始めとする薬物の乱用は、精神と身体の両面を深く致命的に破壊します。脳の正常な発達を止めてしまい、精神のバランスを悪くさせます。乱用により、一時的に頭が冴える、神経が興奮するというような感覚を得たように感じられることがありますが、その後、**脱力感や疲労感**に襲われ、ついには**幻覚、妄想**といった症状が引き起こされます。

また、薬物の乱用は、体の主要な器官に右のような深刻な悪影響を及ぼし、最悪の場合、死に至らしめます。



薬物乱用による主な病名と症状

覚せい剤	▶	覚せい剤精神病→幻聴、幻視、妄想など
大麻	▶	大麻精神病→幻覚、妄想など
シンナー	▶	有機溶剤精神病→幻覚、妄想など